同情罷業者増大

十日十三名、日本窒素肥料株式会社尾去沢鉱山寮支部、高橋支部長を解雇。これを聞いた鉱山寮は、飽くまで強硬と異常圧に抗争、尾去沢鉱山労働者に「ストライキ」と称する印刷物を

[illegible]友宣伝律に基づき、交渉をおこなった。

二百一般労働者中同情罷業をなす者漸次増加して約千三百名（内争議団本部に入りたるもの約五百名、其の他は自宅にて休業）

に達し、鉱山内は僅に三百五十名内外の出勤者により作業を継続し、親業者組合員を帰宅せしめず、十四日より事務の内貨室の全別棟に移る。親業者業よりと交絶まること、なお労働者に配布一万枚余像